

主な内容

- 22年度施政方針
..... P 2~7
- 教育行政施策の概要
..... P 8~9
- 暮らしの情報
..... P 13~15

木と遊びながら表現できる チェーンソーカービング 里山に親しむ入り口になれば



チェーンソーカーバー ひらく 斉藤啓さん

一関地方森林組合の現場職員として山仕事に携わる傍らチェーンソーカービングに魅了される。岩手県林業作業士(グリーンマイスター)。中里字沢田。35歳



チェーンソーを使って木を彫る彫刻、チェーンソーカービング。チェーンソーで仕上げまで行うので、世界最速の木彫刻といわれます。迫力ある音で丸太が削られ、動物などの姿が浮かび上がってくる光景は、見る人を楽しませます。

一関地方森林組合の現場職員として、山仕事歴9年の斉藤啓さん。チェーンソーカービングに出合ったのは、組合青年部の活動で、岩泉町在住の国際大会で入賞歴のあるチェーンソーカーバー、西間健さんから講習を受けたことでした。「楽しみながら林業という仕事を発信できる」と魅了され、現在では市の農業祭などイベントでのデモンストレーション、大会への出場のほか、みちのくチェーンソーアートクラブに所属し他地域の愛好家と交流しています。

以前からスノーボード、サーフィンなどアウトドアスポーツが趣味。山仕事は危険な面もありますが「山を知り尽くしたベテランの仕事ぶりはすごい。たくさん学びたい」と真摯に取り組みます。昨年6月、スウェーデンで開かれた世界最大規模の林業機械展「エルミアウッド」に一人自費で参加。「地形や木が違うので、世界のやり方を日本でそのまま行うのは難しいと感じながらも、また林業で頑張りたいという元気をもらった」と語ります。

「チェーンソーカービングのデモンストレーションを見て、かっこいい」と感じてもらうことが、里山に注目するきっかけになれば」と愛機ハスクバーナを自在に操る斉藤さんです。

安心して暮らせ誇りに思えるまちづくりを推進

勝部市長は、2月23日開会した第27回市議会定例会本会議で、平成22年度の施政方針演説を行いました。今回は、その全文をお知らせします。

雇用対策を最重点課題として 地域の自立のための確かな対応を



施政方針を述べる勝部市長

本日ここに、第27回一関市議会定例会が開会されるにあたり、平成22年度の施政の方針を申し上げます。

わが国は、一昨年初以降、世界的な経済危機により大きな打撃を受けたところでありますが、私たちの住む地域社会は、もはや県境とか国境を越えたところでさまざまな経済活動が行われ、グローバル化した社会にあるといえます。

このような状況にありまして、私たちの生活環境は、個人の活動はもちろん、企業活動におい

ても、昨年、相次ぐ事業所閉鎖などにみられるように、外部から直接影響を受けやすく、その危機を乗り越えるためには、私たち一人一人が直面する課題を自分の問題として受け止め、解決に向けて行動していくことが不可欠であります。この行動が、地域としての自立につながっていくものと考えております。

当市が今、直面する課題は雇用対策であり、私は、昨年10月の市長就任時においても、この雇用対策を最重点課題と位置づけ取り組んでまいりました。この課題に的確に対応できなければ、地域の自立はあり得ないと強く認識しており、生まれ育った地域で安心して暮らし、地域を誇りに思えるまちづくりを進めることが大切であり、最大限の対策を講じて市民の不安解消に努めてまいります。

国では、これまで5回にわたる経済危機対策、生活対策を実施してまいりました。当市でもこれまで、国の対策に併せ、雇用の創出や、地域経済の活性化に積極的に対応してきたところであります。さらに、現下の経済危機を乗り越えるために、後年度に計画をしていた事業の前倒しを行うなど、平成22年度において約39億3千万円の経済対策を講じて、雇用の創出や元気な地域の再生に取り組んでまいります。

歳しさを増す雇用情勢や少子高齢化、人口流出、地域における医療確保の問題など、課題は山積しておりますが、地方分権が進展し、地方自治体の役割、責任が増大してきている今こそ、将来を見据えた確かなまちづくりが肝要であり、総合計画に掲げた将来像の実現に向け、市民への力強いメッセージとして、重点施策を明確に発信し、着実な歩みを進めてまいります。

当市の財政状況は、景気低迷

震災からの完全復興に全力

私は、市民生活の起点は、安全・安心にあると考えています。

その結果、平成22年度当初予算の総額は58億9632万2千円、前年対比で4.6割増としたところであります。当初予算の総額としては平成17年の合併以降で最大となっており、私は、この予算案を、守りを固めて踏み出す予算」という積極型にすることができたと考えております。

それでは、平成22年度の重点施策について申し上げます。

一昨年6月、岩手・宮城内陸地震の発生により、当市は甚大な被害を被ったところですが、私は、平成22年度は、被災された方々の生活再建への支援を継続するとともに、震災からの完全復興の年と位置づけ、さまざまな施策を展開し、市民の安全・安心の確保に積極的に取り組んでまいります。

さらに、本年5月末に予定されている国道342号の全線開通を契機に、真湯・須川間のウォーキングなど各種イベントの取り組みを通して、震災からの完全復興と併せ、当市の観光資源を全国に発信してまいります。

近い将来、宮城県沖地震の発生が高い確率で予想されており、大規模災害に備え、市内全域にいち早く災害情報を提供できるシステムの構築について、計画を前倒しして取り組んでまいります。

の拡大を図ってまいります。

雇用対策については、国の緊急雇用対策基金の活用はもとより、市独自の施策としても、新規

高卒者を採用した企業が、人材育成に取り組み場合の支援策として「ふるさと就職支援事業」に取り組みとともに、岩手県南技術研究センターや一関工業高等専門学校など関係機関と連携した人材育成事業の実施、技能・技術等資格取得支援のための講座の開催、地域企業のものづくり技術力の向上支援など、地域企業に優秀な人材がしっかりと定着するための施策を講じ、活力に満ちたまちづくりを推進してまいります。

さらに、地域医療確保対策についても早急な対応が必要であり、県との連携はもとより、市といたしましても新たに専任職員を配置するなど、実効性のある対策を講じ、安心して暮らせるまちづくりを努めてまいります。

「中東北」の拠点都市形成

次に、「中東北」の拠点都市一関の形成についてであります。当市は、岩手・宮城の政策調整の要に位置していることから、その地理的優位性を最大限生かすために、基幹となる道路網の整

備を進めるとともに、観光面における県際連携を積極的に推進してまいります。

産業振興については、第一次産業は、新たな雇用創出の可能性が期待できることから、新規就農者への支援の拡充や、ブランド化推進事業などの取り組みを通して、農業の魅力を発信し、新規参入を促してまいります。

教育・人材育成については、教育環境の整備を進めるとともに、キャリア教育の充実強化や読書普及員の配置などにより、地域の将来を担う子どもたちの健全な育成に努めてまいります。

地域コミュニティについては、新たに市民との協働による、いちのせき元気な地域づくり事業を実施してまいります。地域住民と支所が創意工夫しながら特色のある事業を展開し、地域を元気にしようとするもので、市全体の活性化にもつなげてまいります。また、支所ごとの住民と一緒に考え、実施事業の決定、事業の執行については、すべて支所長の権限で進めてまいります。

市民が主役の地域づくりについては、何よりもまず、地域コミュニティの自立が大切であり、地域の祭り、歴史、文化の伝承活

動や、NPO、自治会などが行う自主的な活動に対して支援を行い、地域の元気を創出してまいります。

また、地域おこし事業については、実践者発表会を開催するなど、実践団体間の交流・連携を促進し、これを地域の力に結びつけてまいります。

さらに、私が各支所に赴き、連続する3日間（仮称）移動市長室を設け、支所において執務を行うとともに、地域の方々の意見交換なども行ってまいります。環境対策については、省エネルギービジョンの策定を進める

競争力の強い産地を形成

農業については、多彩な農畜産物がバランス良く生産されている地域特性を最大限生かしながら、安全・安心で質の高い農畜産物の生産拡大を推進するとともに、農業を担う人材や、組織の確保・育成を図り、全国に向けて

1 地域資源を生み育て 賑わいと活力あふれるまちづくり

第1に「地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり」の施策について申し上げます。

農畜産物のブランド化については、一関めぐみブランド化推進事業を核に、両農協や、いわて南牛振興協会と連携し、消費者に評価され、信頼される産地づくりを目指してまいります。

担い手育成については、関係機関と連携し、経営感覚に優れた農業者や、効率的な営農組織の育成に努めるとともに、新規就農や農林業分野での新たな雇



震災からの復興の年として各種事業を展開(再オープンした真湯山荘)



安全・安心でおいしい米づくりを促進

用、さらには、加工・販売など農業の六次産業化に向けた起業などに着目した人材の育成に努めてまいります。

集落営農や農地保全については、中山間地域等直接支払制度や、農地・水・環境保全向上対策事業を活用した取り組みを支援してまいります。

水田農業については、一関地方水田農業ビジョンの実現に向け、特別栽培米や有機栽培米をはじめ、地域の特徴ある安全・安心でおいしい米づくりを促進してまいります。

また、国の新たな制度である、戸別所得補償モデル対策については、国からの情報収集に努め、

2 みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり

第2に「みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり」の施策について申し上げます。

市民の健康づくりについては、健康いちのせき21計画および食育推進計画の周知啓発に努めながら、市民の自主的な健康づくりや健全な食生活のあり方について、意識の高揚を図ってまいります。

健康診査については、循環器系健康診査をはじめ、各種がん検診などを実施し、疾病の早期発見、早期治療に努めるとともに、妊婦健康診査の拡充を図ってまいります。

国民健康保険については、現在の社会経済情勢にかんがみ、被保険者の負担を軽減するため、制度の健全な運営に意を配しながら、税率の引き下げ等を実施するとともに、税収の確保に努めてまいります。

また、特定健康診査事業については、新たに被保険者で50歳に到達する方の負担金を無料化し、受診の促進を図るなど被保険者の健康増進に努めてまいります。

後期高齢者医療については、

関係機関と一体となって取り組むとともに、転作物としては、水田の有効活用や飼料自給率の向上に向け、米粉用米や飼料米などの普及と、その実用化を促進してまいります。

園芸・特産作物については、ナス、トマト、小菊、干しシイタケを中心とした生産振興を促し、市場に信頼される産地の確立を目指してまいります。また、花泉大東の二つの農業研究施設の積極的な活用と、取り組み成果を広く農家に普及していくとともに、両施設の一体的な運営について検討を進めてまいります。

畜産については、各種補助事業の活用による経営基盤の確立や、優良素牛の導入による能力と品質の向上、公共牧場の効果的な活用促進により、経営体質の強い畜産農家の育成に努めてまいります。

農業生産基盤の整備については、効率的な農業や地域ぐるみ農業の実現に向け、ほ場整備を進めてまいります。

農業用施設の保全については、ため池等整備事業や農業水利施設保全対策事業および土地改良施設耐震対策事業により、新たに八幡沢地区、真打堰地区に着手するなど、施設の適切な更新や改修を行い、機能確保と長寿

命化を図ってまいります。林業については、市有林や民有林の除間伐を進め、森林の健全な育成を推進するとともに、CO₂の削減や水源の涵養など、森林の持つ公益的機能の維持増進を図ってまいります。

地域の雇用創出に尽力

工業については、国や県などが主催する展示商談会等への出展経費の助成や、企業情報交換会の開催を通じ、受注機会の拡大と企業間の連携を促進するとともに、地域企業が行う設備投資への支援制度の拡充を図り、雇用の創出に努めてまいります。

研究開発プラザについては、研究開発に取り組みとする地域企業や、新たに当市に拠点を構えようとする企業のニーズに対応するため、貸し研究室4室の増築を行うほか、高品質・高付加価値なものづくりを促進するため、岩手県南技術研究センターの試験分析機器整備に対する支援を行ってまいります。

一関東第二工業団地については、岩手県および岩手県土地開発公社と連携を取りながら、企業の早期立地を目指し、全5区画の整備促進や優遇制度の拡充を図ってまいります。

に、医療機関、住民、市それぞれの役割や連携を強化しながら地域医療体制の充実を図ってまいります。

子育て環境を充実

子育て支援については、保育園や幼稚園に通う第3子以降の保育料の無料化や、就学前の乳幼児の医療費無料化を実施するとともに、待機児童の解消に向けて、私立保育園2園の改修事業に対する支援や、川崎保育園において0歳児保育を行うための施設改修工事を実施してまいります。また、新たに創設される子ども手当での円滑な実施に努

さらに、工業団地等の用地のリース制度を拡充するとともに、研究開発・設計および情報関連企業等の立地を促進するため、設備投資に対する新たな助成措置を設けるなど、積極的に企業誘致活動を展開してまいります。雇用対策については、重点施策で述べたほか、新規高卒の未就職者を対象とした情報化研修、品質管理研修を実施するとともに、職業訓練施設を活用し、離職者の再就職訓練事業を支援してまいります。

また、求職者の利便性向上のため、無料職業紹介所と他の相談窓口とのワンフロア化を図るほか、千厩支所内の「ふるさとハローワーク」や、ジョブカフェ一関への支援を強化し、就業支援、雇用相談、企業の求人拡大の働きかけなど、関係機関、団体との連携と併せ、国の基金事業も活用し、雇用機会の創出、確保に努めてまいります。

商業については、一関商工会議所や地元商店会と連携しながら、ど市、互市、夜市などの各地域のイベントの開催や共通商品券事業を支援し、地域の消費意欲を刺激するとともに、商店街のやる気・元気を引き出しながら消費拡大と地域経済の活性化を図ってまいります。

めてまいります。

さらに、就学前から早期に適切な指導や訓練を行うことにより、発達の遅れが認められる児童の健全な成長を促す「かるがも教室」の開設を拡充し、早期療育事業の充実を図ってまいります。

また、生後4カ月までの乳児のいるすべての家庭を保健師または助産師が訪問し、母親への育児等に関する情報提供や、不安・悩みへの相談に対応するとともに、家庭相談員を増員し、虐待防止などの相談体制の充実を図ってまいります。

障がい者福祉については、特にも、地域におけるきめ細かな支援体制を強化するため、相談支援業務の委託事業者を追加し、支援体制の充実を図ってまいります。

また、専門相談員を配置して、発達障がいなどの相談支援体制の充実にも意を配してまいります。高齢者福祉については、高齢者が地域で自立した生活ができるよう、地域包括支援センターと連携して、介護予防事業を実施するなど、高齢者の健康保持と生きがいづくりに努めてまいります。

また、高齢者が要介護状態となった場合でも、住み慣れた地

また、中小企業振興資金の融資枠を確保し、中小企業者の経営安定化を支援してまいります。観光については、観光客の満足度向上に向けたモ二ター調査の実施と併せ、主要な観光地間を結ぶ二次交通の確保を図るなど、観光客の利便性向上に努めてまいります。

また、「祭りや自然」「歴史」「伝統文化」など、多彩な観光資源を広く宣伝し観光客を誘致するとともに、伊達な広域観光推進協議会に参画し、連泊滞在型体験型観光への取り組みを進めるとともに、受け入れ態勢充実のため、関係団体との協働により人材育成に取り組みしてまいります。さらに、真湯総合保養センターの休憩施設整備を進めるなど、真湯祭時地区の活性化に努めてまいります。

物産については、産業まつりの開催をはじめ、姉妹都市・友好都市などでの物産と観光展を通じて交流を促進しながら、地場産品の宣伝と販路拡大を図るとともに、一関の魅力のPRに努めてまいります。

地籍調査事業については、土地利用の高度化に資することともに、地籍の明確化を図るため、三関字桜町、外谷起、日照、仲田、神田の調査を実施してまいります。

域で生活ができるよう、小規模多機能型居宅介護や認知症高齢者グループホームなど、地域密着型サービスの整備を促進してまいります。特別養護老人ホーム待機者の解消については、国の制度の活用と併せ、一関地区広域行政組合と連携して、介護事業者が事業推進しやすい環境のあり方を検討してまいります。

一関遊水地事業については、磐井川堤防改修事業の用地買収等が開始されたことから、関係機関との連携を図りつつ事業の推進に努め、併せて、河川空間の利活用について市民とともに検討してまいります。小堤および水門の整備促進、さらに、一関遊水地地下流部に位置する、狭隘地区の治水対策については、次期事業の実施について要望してまいります。

岩手・宮城内陸地震の災害復旧関連事業については、祭時大橋および被災道路の災害復旧と、今後の災害への備えとして、砂防えん堤の建設、かさ上げなどの整備について国や県に要望してまいります。また、被災した祭時大橋や市野々原地区の天然ダムについて、遺構として保存し、後世に伝えるとともに、市民の防災意識の高揚を図ってまいります。



安心して子育てができる環境を整えます

自主防災組織の育成強化

消防防災については、自主防災組織の育成強化を促進し、市民の自助・共助の防災意識の高揚を図ってまいります。

消防救急体制については、市民の生命・財産を守るため、防災拠点となる一関東消防署庁舎の建築、二関南消防署庁舎の実施設計および消防車両や高度救命用資機材の更新などを行ってまいります。

交通安全および防犯については、安全安心まちづくり市民大会を開催するとともに、防犯灯設置費の支援や電気料を補助するなど、交通安全および防犯の意識高揚を図り、安全で住みよい地域社会の構築に努めてまいります。

多重債務者対策については、職員を専門研修等に参加させるとともに、関係機関等と連携を図り相談窓口の充実に努めてまいります。

自殺対策については、相談窓口の周知を図るとともに、こころの健康や自殺予防に関する普及啓発および地域における身近な存在として傾聴ボランティアの育成など、関係機関等と連携しながら対策を進めてまいります。

3 人を育み文化を創造する 生きがいのあるまちづくり

第3に「人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり」の施策について申し上げます。

人材の育成については、人口減少社会において地域の活力を維持していくためには、人材の育成が重要であると考えているところであり、子供たちが、しっかりと勤労観・職業観を身に付け、さまざまな問題にたくましく対応する社会人として自立できるような人材育成を目指してまいります。

読書の環境を整備

また、今の時代においては、自分の確に表現することや、相手の意図を正確に理解できるコミュニケーション能力が特に求められています。この能力は、子どもたちがより多くの本に接することにより培われるところが大きいのではないかと考えており、読書の大切さを家庭、地域が一体となって理解し、読書活動を普及させるように努めるとともに、図書館の整備を進め、読書環境の向上を図ってまいります。

4 人と情報が活発に行き交う ふれあいと連携のまちづくり

第4に「人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり」の施策について申し上げます。

国・県道の幹線交通網の整備については、国道284号真滝バイパスと清田地区は平成22年度完成を促進するとともに、室根バイパスについては、用地買収に着手されますが、さらなる整備促進に努めるほか、国道342号花泉バイパスの早期完成を促進してまいります。さらに、敵美バイパス、国道343号大原バイパス、主要地方道一関大東線生田・流矢地区および主要

5 水と緑を守り育み 自然と共生するまちづくり

エリアの拡大、共同受信組合におけるデジタル化などを推進し、平成23年7月から完全実施されるデジタル化に対応してまいります。

解消、インターネットの光通信サービスエリアのさらなる拡大については、光ファイバーの民間開放を積極的に推進しながら、情報格差の是正に努めてまいります。

第5に「水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり」の施策について申し上げます。

省エネビジョンを策定

環境保全については、地球温

暖化対策を一関地球温暖化対策地域協議会と連携し、学習会の開催、広報の発行などCO₂削減の必要性の意識啓発に努めるとともに、住宅用太陽光発電システムへの補助制度を創設し、また、防犯灯のLED化などの取り組みを推進してまいります。また、省エネルギービジョンの策定に取り組んでまいります。

ごみの減量化、資源化については、資源の有効活用の意識啓発を図るとともに、元気なまちづくり事業の一環として、住民とともに不法投棄のないまちづくりを推進してまいります。

簡易水道事業については、敵美・萩荘、真滝・弥栄、舞川、磐清水・奥玉・小梨および田河津の事業を推進し、水道未普及地域の解消に努めてまいります。

また、施設の老朽化に伴う改修・更新についても実施してまいります。

めてまいります。

骨寺村荘園遺跡の世界遺産登録については、平泉の登録後に、追加登録を目指してまいります。大切なことは、中世から引き継がれてきた素晴らしい景観をしっかりと後世に伝えていくことであり、そのための調査研究を進めるとともに、ガイドンス施設の整備に取り組んでまいります。

なお、教育行政の具体については、教育委員長より申し上げます。

地方道一関北上線についても、関係機関と連携しながら整備促進に努めてまいります。

また、国道4号一関大橋以南の四車線化や、花泉バイパス以南宮城県境までの国道342号の整備促進についても要望してまいります。

一関・気仙沼間を結ぶ地域高規格道路の建設および(仮称)栗原北上線の県道昇格については、関係市町と一体となって要望してまいります。

市道については、流通団地金沢線・清水原一関線、(仮称)駒場広域連絡線、寺田下流通団地線

水道の管路整備を進めるとともに、千厩污水处理施設の平成22年度供用開始を目指し整備を進めてまいります。

さらに、供用開始区域内の未接続世帯の水洗化を促進するとともに、下水道事業中期経営計画を策定し、効率的・効果的な下水道事業の推進に努めてまいります。

また、浄化槽事業については、市設置型と個人設置型の二つの整備手法について、地域の状況を把握しながら、今後の方針を決定してまいります。

協働によるまちづくりを基本に 発展に必要な施策を着実に実施

以上、分野別施策の主なものとして申し上げますが、当市の財政状況については、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率等は、国で定めている「早期健全化基準」以下であるものの、少子・高齢社会の進展、人口減少、経済情勢の悪化などにより、市の財政状況は、一層厳しさを増していくものと見込まれます。

今後の財政状況を把握し、より一層の財政の健全化を図り、行政課題や多様な市民ニーズに的確に対応できる持続可能な財

政基盤の確立に努めていくことはもちろん、行政改革大綱・集中改革プランの着実な実行に努めるとともに、平成23年度からの次期計画の策定に向けた取り組みを進めてまいります。

さらに、地方分権が進展する中で、広域的な視点に立つて行政基盤を強化していくためには、合併は有効な手段の一つであり、「両弊は一」の思いを深く胸

に刻み、これまでの合併研究会における調査研究の成果を踏まえ、藤沢町との合併を推進してまいります。



2月に開通した市道石堂構井田線

等については、医療、消防、工業団地などの基幹施設と地域を結ぶ重要な路線でありますことから整備を推進してまいります。

また、市民からの要望が強い生活道路や歩道についても、順次整備を進めることとしており、安全・安心な市民生活の確保に対応してまいります。

街路整備については、一ノ関駅東口へのアクセス向上を図るため、駅東前掘線の平成22年度完成を目指すとともに、中央町地区についても整備を進めてまいります。

公共交通については、長坂・猿沢地区において、タクシー車両によるデマンド運行を行うほか、市民とともに地域の実情に合った乗り合い交通の形態を検討してまいります。

テレビ放送のデジタル化については、中継局の整備、民放放送

また、まちづくりの指針である総合計画基本計画については、平成23年度から平成27年度までの後期計画の策定に着手いたします。

これからの時代は、市民と行政がともに行動する、協働によるまちづくりが基本とならなければならぬと考えているところであり、それぞれが役割と責任を担いながら、ただ今申し上げました施策を着実に推進できるように、最大限の努力をしてまいります。

当市には、豊かな自然と文化、優れた人材、安全で質の高い農畜産物など、先人が守り育ててきた誇れる資源が数多く存在しており、この資源は、いついかなる時代にもありまして、私たちの暮らしを支える大切な基盤であります。

当市は今、厳しい状況に直面しておりますが、この誇れる資源を最大限に活用するとともに、さらなる伸展を図りながら、今後とも市民の声に耳を傾け、一関市の発展のため必要な施策を着実に実施し、市民の負託にこたえてまいります。

何とぞ、議員各位ならびに市民皆さまのご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。



きれいなまちづくりのため行われている清掃活動

新しい時代を切り拓き豊かな心を育む学びのまちづくり

鈴木功教育委員長が2月23日、第27回市議会定例会で述べた教育行政施策の概要をお知らせします。

第27回市議会定例会の開会にあたり、平成22年度の教育行政施策について申し上げます。

今日の社会の現状は、高度情報化、経済のグローバル化、少子高齢化による人口構造の急激な変化、全国的な経済の不況による雇用の悪化、深刻化を増す環境問題や社会全体の規範意識の低下など、社会経済環境が大きく変化してきております。

このような中、子供たちには、自らを律し、協調しながら社会で自立し、その生涯を切り拓いていく力が求められております。

また、子供たちに限らず、あらゆる分野で活動する人々が、それぞれの持つ希望や目標を社会の中で創造的に実現するために、生涯にわたって学ぶことができ、環境づくりが大切と認識しております。

当市の教育振興につきまして、こうした社会の変化等を踏まえながら、一関市教育振興基本計画に基本目標として掲げる「新しい時代を切り拓き豊かな

心を育む学びのまちづくり」の具現化に向け、生涯学習、学校教育、社会教育、文化芸術、生涯スポーツの各般にわたる教育行政施策に取り組んでまいります。以下、その具体について申し上げます。

1 人生を豊かにする生涯学習の推進

一つ目に「人生を豊かにする生涯学習の推進」について申し上げます。

一関に住み暮らす誰もが、人と人のつながりで構成される社会の一員として、自覚と責任を持ちながら、生涯の各時期において、主体的・継続的に自己の研鑽を深め豊かな人間性や社会性を身につけることが必要であります。

このため、学習ニーズにあった機会や情報の提供等を行いながら学習環境の充実を図り、家庭教育・学校教育・社会教育のそれぞれの領域で、連携を深め生涯学習を推進してまいります。

特にも、次代を担う子供たちが、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろうさまざまな課題に柔軟にかつたくましく対応し、社会人、職業人として自立していくことができるようキャリア教育についての取り組みを進めてまいります。

さらに、読書は、子供たちが自ら考え、行動し、主体的に社会の形成に参画していくために必要な知識や教養はもろろん、常日ごろの読書活動を通じ、生涯にわたって絶えず自発的に学ぼうとする習慣を身に付けさせると考えますことから、読書の大切さについて家庭、地域の共通理解に努めてまいります。

2 新しい時代に生きる力を育む学校教育の推進

二つ目に「新しい時代に生きる力を育む学校教育の推進」について申し上げます。

学校教育につきましては、確かな学力と豊かな心を育てる教育を基本にし、ことばを大切に

育を基本にし、ことばを大切に

育を基本にし、ことばを大切にすることを重点に進めてまいります。豊かな学力の育成につきましては、児童生徒の学力実態把握に努め、指導主事および学習指導専門員による全小中学校に対する学力向上指導・支援の充実を図ってまいります。また、新教育課程を踏まえた学校研究公開や、全小学校へのALT派遣による小学校外国語活動の充実にも努めてまいります。

豊かな心の育成につきましては、不登校等の学校不適應に対応するため、教育相談員による相談事業、適応支援教室・タンポポ広場における学習・相談活動を進めてまいります。また、幼児期からの就学指導をはじめ、特別支援コーディネーターおよび学校サポーターを中心として、特別支援教育への一層の支援に努めてまいります。

ことばを大切にすることを推進してまいります。研究推進校の指定とことばの力を育てる指導員」

文化芸術の振興につきましては、郷土芸能の伝承保存の支援に努めるとともに、一関文化会議所など関係団体との連携を図り、市民の多様で活発な文化芸術活動を促進してまいります。また、文化財の悉皆調査をもとにその保護、保存、活用に努めてまいります。さらに、骨寺村荘園遺跡の世界遺産追加登録に向け、地元の方々や専門家等の参画をいただきながら調査研究を進めてまいります。

一関市博物館につきましては、当市出身の日本画家 佐藤紫煙が遺した作品を紹介する企画展を実施してまいります。また、芦東山記念館では開館3周年特別展として「仙台藩の学問」の開催、石と賢治のミュージアムでは「鉱物から賢治の世界を知ろう」などの企画展や各種講座などを開催してまいります。

5 地域に根ざした生涯スポーツの推進

五つ目に「地域に根ざした生涯スポーツの推進」について申し上げます。

生涯スポーツにつきましては、各関係団体と連携を図り、スポーツ教室やスポーツレクリエーションの各種事業を実施し、



鈴木功教育委員長

の配置、児童が集う「ことばサミット」開催などを通して、ことばを大切にする運動を、全小中学校に広げてまいります。また、学校・家庭の連携により一関のすべての子供が、15歳までに700時間の読書時間を達成するよう読書指導を展開してまいります。さらに、読書普及員を新規配置し、学校図書館がふれあいと学びの場となるよう努めてまいります。

キャリア教育につきましては、市内全中学校の2年生を対象とした原則5日間の長期社会体験学習を実施するとともに、フォーラムを開催し、その大切さを市民・地域社会と共有することに努めてまいります。さらに、

市民の健康づくりの促進に努めてまいります。また、国内のトップアスリートによる「夢の教室」事業を実施し、子供たちに夢を持つことや仲間と協力することの大切さを学ぶ機会を提供してまいります。さらに、本年8月に当市で開催される東北総合体育大会のフエニシング、バレーボールおよび体操競技の円滑な運営に努めるとともに、真湯・須川間ウオーキングおよびマラソンを開催し、震災からの完全復興の情報発信に資してまいります。

社会体育施設につきましては、スポーツ施設の適切な維持管理に努めるとともに、磐井川堤防改修事業の円滑な推進と整合を図りながら、一関水泳プールおよび青葉テニスコートの移転改築事業の実施設計を進めてまいります。

以上、新年度の教育行政施策の概要を申し上げますが、関係団体等との連携を図りながら、生涯にわたる市民の学習活動を促進し、「新しい時代を切り拓き豊かな心を育む学びのまちづくり」に尽力してまいります。ご理解ご支援、ご指導を心からお願い申し上げます。



昨年12月に開館した東山図書館

小中学校への連携推進研究指定や、市内幼稚園から大学までの代表で構成する学校運営推進協議会での情報交換を通じ、幼稚園、高校、大学とも連携したキャリア教育を推進してまいります。義務教育施設環境の整備につきましては、大原小学校のプール建設、屋外環境整備、川崎中学校の校舎建設、萩荘中学校屋内運動場の改築、涌津小学校校舎の大規模改修、日形小学校、千厩小学校の屋内運動場の耐震補強および一関中学校武道場建設事業を推進するとともに、千厩小学校校舎、長坂小学校屋内運動場、猿沢中学校屋内運動場およ

び興田中学校校舎の耐震改修実施設計、大東中学校区統合小学校の校舎実施設計、山目小学校校舎の大規模改修の実施設計に取り組んでまいります。また、学校規模の適正化に向け、市民理解を得る取り組みを引き続き進めてまいります。学校給食につきましては、安心な給食の供給を心がけながら、食育に意を配した運営に努めてまいります。また、新しく開設される(仮称)真滝学校給食センターからの供給により、市内全域の小中学校で完全給食が実施されることとなりますが、その運営にあたっては、地場産食材の利用に努めてまいります。さらに、(仮称)千厩学校給食センターにつきましては、平成24年4月からの供給開始を目指し、実施設計に取り組んでまいります。

3 共に学び触れ合う社会教育の推進

三つ目に、「共に学び触れ合う社会教育の推進」について申し上げます。

社会教育事業につきましては、市民一人一人が豊かな人間性や社会性を身につけ、時代の変化に対応する生きがいのある充実した生活を支援するため、多様

4 多様で個性ある文化の創造

四つ目に、「多様で個性ある文化の創造」について申し上げます。

旧弥栄中学校を改修し弥栄公民館として活用を図るとともに、大原公民館ホール天井工事や花泉公民館トイレ改修工事など公民館施設の維持修繕工事を実施してまいります。

汚水処理人口の普及率は49パーセント

一関市の公共下水道や浄化槽などによる汚水処理人口普及率は、21年3月末現在で49%。県平均の70.2%に比べて遅れています。地域環境の保全のためにも今後とも整備を進めていく必要があります。
 (表1「グラフ1」参照)

公共下水道に接続を

公共下水道は、市街地などの住宅密集地で効果的な整備手法で、汚水処理整備事業の中では処理場建設など初期投資が多額となりますが、整備を行うことで長期間にわたりその効果が発揮できます。

市内では、大東、川崎地域の整備がほぼ終了しています。今後は一関、千厩地域の整備促進が課題となっています。

また、下水道への接続率を示す水洗化率は72.7%となっており、この事業を次世代につないでいくため、未接続者の皆さんには、早期の接続をお願いいたします。

ます。(図1参照)

合併浄化槽は増加

合併処理浄化槽は、家屋が点在する地域で効果的な整備手法で、公共下水道などの集合処理に比べて初期投資が少額です。

市では、浄化槽を設置しようとする個人に対して補助金を助成する個人設置型事業と公共下水道と同じように利用者から分担金使用料を納めていたいて市が浄化槽を設置・管理する市設置型事業の二つの手法で整備を進めてきました。

同事業は、合併時点での計画基数を1万1913基と見込み、22年3月末までに市設置型947基、個人設置型3525基の整備を予定しています。

また、早期に汚水処理整備を促進するためには、地域の実情を勘案したうえで公共下水道から浄化槽へと整備手法を切り替えることも必要となっており、浄化槽の計

事業費(市の借金)は

21年3月末の汚水処理事業全体の地方債(市の借金)残高は約242億円となっています。この額は

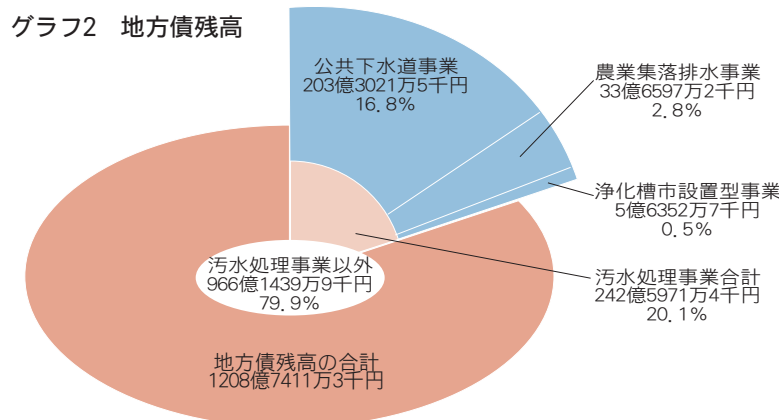
一関市の会計全体では約20%を占めます。

この地方債は、処理場建設などの多額の初期投資を賄うために充てる長期借入金で、下水道使用料などで返済することとしています。

地方債の借入額は、整備の実施状況や償還(返済)期間などが大きく影響しますので、中長期的な視点に立ち計画的な管理・運営に努めています。(グラフ2参照)



グラフ2 地方債残高



千厩地域で実施している下水道工事

下水道懇談会開催します

市は、これからの汚水処理事業について、市民の皆さんのご意見を伺うため地域ごとに懇談会を開催します。

懇談会でのご意見は、事業を効果的・効率的に推進するため整備手法や計画区域などの見直し検討の参考にさせていただきます。

日程などは下表のとおり。多数の参加をお願いします。

開催日	時間	場所	対象地域
4月21日(木)	19:00~20:30	室根曲ろくふれあいセンター	室根地域
4月22日(金)	19:00~20:30	大東コミュニティセンター	大東地域
4月23日(土)	19:00~20:30	東山地域交流センター	東山地域
4月24日(日)	13:30~15:00	市役所本庁2階大会議室	一関地域
	16:00~17:30	花泉支所東大会議室	花泉地域
4月25日(月)	13:30~15:00	千厩支所2階大会議室	千厩地域
	16:00~17:30	川崎公民館	川崎地域

◎問い合わせ先 本庁下水道課 ☎8584 または各支所下水道課

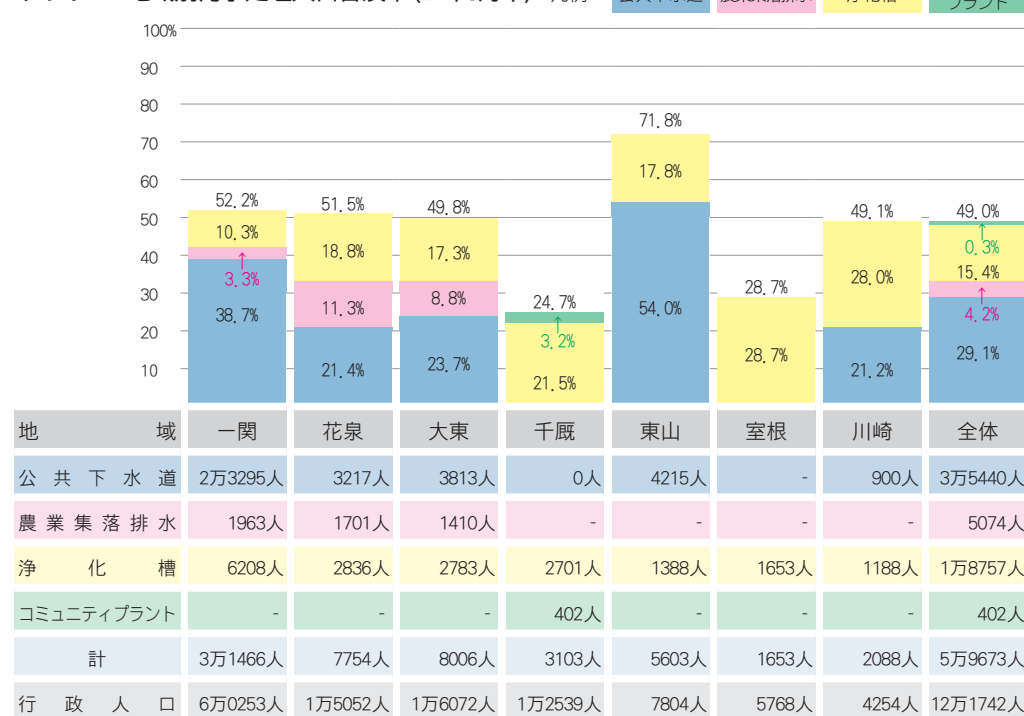
表1 汚水処理施設整備状況(21年3月末)

種別・区分	行政人口	計画人口	処理人口	水洗化人口	普及率	水洗化率
公共下水道		6万6530人	3万5440人	2万5765人	29.1%	72.7%
農業集落排水事業		7470人	5074人	3747人	4.2%	73.8%
浄化槽市設置型	12万1742人	-	3576人	3576人	2.9%	100.0%
浄化槽個人設置型		-	1万5181人	1万5181人	12.5%	100.0%
コミュニティプラント		-	402人	402人	0.3%	100.0%
計	7万4000人	5万9673人	4万8671人	4万8671人	49.0%	81.6%

※普及率=処理人口÷行政人口(水洗化することが可能な人口)、水洗化率=水洗化人口÷処理人口

画基数はさらに増えるものと考えられています。

グラフ1 地域別汚水処理人口普及率(21年3月末) 凡例



◆資格:定員:市内在住の20歳以上の人で、新一関図書館整備に興味・関心があり、図書館活動に協力したいと考えている人:5人◇応募期限:3月24日

④ 必着◇応募方法:郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、性別、電話番号を明記し、応募の理由を400字程度にまとめ、郵送または電子メールで。

◎応募先:問い合わせ先:教育委員会生涯学習文化課 ☎6594 電子メールアドレス shogai@city.ichinoseki.iwate.jp

JICAボランティア
◆資格:①青年海外協力隊

募集

INFORMATION

暮らしの情報

新一関図書館整備計画委員

- ★市役所
- ▶本 庁 ☎21-2111
 - ▶花泉支所 ☎82-2211
 - ▶大東支所 ☎72-2111
 - ▶千厩支所 ☎53-2111
 - ▶東山支所 ☎47-2111
 - ▶室根支所 ☎64-2111
 - ▶川崎支所 ☎43-2111

- ★一関市ホームページ
- ▶パソコンから <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/>
 - ▶携帯電話から <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/m/>

- ★テレホンサービス
- ▶災害発生・休日(日曜・祝日)当番情報提供サービス ☎0180-991199
 - ▶災害時の河川水位など
一関地域: ☎21-8899
川崎地域: ☎43-4112・4113

5月17日現在、満20歳から39歳までの日本国籍を持つ人【②】シニア海外ボランティア

5月17日現在、満40歳から69歳までの日本国籍を持つ人◇募集期間:4月1日(木)~5月17日(日) 最終日消印有効◇体験説明会:【日時】①4月7日(水)18時30分~20時30分②18日(日)14時~16時③18日(日)10時30分~12時30分【会場】マリオス18階188会議室(盛岡市)

◎応募先:問い合わせ先:JICA東北支部 ☎022-2234772 ホームページ: <http://www.jica.go.jp/>

地域おこし事業市民審査員

◆資格:定員:市内在住で、市のまちづくりに関心を持ち、広い視野に立つてさまざまな角度から審査いただける人:3人

◇応募期限:4月5日(日) 必着◇応募方法:郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、性別、電話番号を明記し、応募の理由を400字程度にまとめ、郵送または電子メールで◇審査会:【日時】4月18日(日)9時45分~16時【会場】市役所本庁◇その他:審査員に選ばれた場合、氏名が公表される場合があります。

◎応募先:問い合わせ先:本庁協働推進課 ☎218671 電子メールアドレス kyodo@city.ichinoseki.iwate.jp

国家公務員採用試験

【一 種】

◇受験資格: 昭和52年4月2日~平成元年4月1日生まれの 平成元年4月2日以降生まれで、大学を卒業もしくは平成23年3月までに卒業

見込み、または人事院がこれらと同等の資格があると認める人◇受付期間:【インターネット】4月10日(土)~14日(水)【郵送】4月12日(月)~21日(水)◇第1次試験日:6月20日(日)

◎問い合わせ先:人事院東北事務局 ☎022-22212022 人事院ホームページ: www.jintj.go.jp/saiyosaiyoh.htm

平成22年度東北地区国立大学法人等職員採用試験

◇受験資格: 昭和56年4月2日以降生まれの人◇受付期間:4月1日(木)~9日(金)◇第1次試験日:5月16日(日)◇会場:岩手大学など

◎問い合わせ先:東北地区国立大学法人等職員採用試験事務局 東北大学本部内 ☎022(217)5676 ホームページ: <http://www.bureau.toho-u.ac.jp/shiken/>

100歳おめでとうございます



松岡寿さん(上大槻街) 2月25日
▲親族に囲まれ誕生日を迎えました。囲碁と謡曲が趣味。喜多流謡教士としてたくさんの人に教えてきたそうです。



遠藤君子さん(川崎) 2月25日
▲自宅で誕生日を迎えた君子さん。手先が器用で、週3回のデイサービスでは折り紙を楽しんでいるそうです。

文学に親しみ高い評価



達古袋小6年の佐藤慧太君(右)は青少年読書感想文全国コンクールで優秀作品賞を、田川津小6年の佐藤幸司君(左)はNHK全国短歌大会で選者賞を受賞。2月24日、勝部市長に報告しました。

産直新鮮館おおまち

(一関)

市街地に立地しにぎわいを創出

旧ダイエーの1階で、平成17年7月から営業している新鮮館おおまち。市街地ににぎわいを作り出したいという市内有志らが出資して設立された一関まちづくり(株)が運営しています。海産物、工芸品など多様な品揃えですが、主力は野菜、果物、農産加工品など農家が持ち込む産直コーナー。現在は年間約220人の農家が生産した新鮮野菜やなつかしい味の加工品などを販売しています。

●おいしさ、楽しさを求めた売り場

「安全、安心は当たり前。専業農家が市場に出荷する野菜でなく、農家が家で食べているものと同じものを出してもらっている」と千葉幸七代表取締役。「おいしさ、そして珍しくて懐かしいものを探す楽しさを求めている。お客さんに宝探しをする気分を味わってほしい」と語ります。月に一度開かれる農家の学習会では、見栄えよりおいしさを求めた品種選定などを学び合っています。

人気の品は、「昔の味がする」と評判の、農家のお母さん手作りの漬物類。常連客は、決まった人のたくあんや梅干しなどをいつも買い求めるそうです。

3月上旬、納品に訪れた4人の生産者。左から船山光子さん(萩荘)、千葉美恵子さん(同)、佐々木かよ子さん(厳美町)、伊藤ノブ子さん(中里)です。「生産者同士、出荷の際情報交換できて楽しい」「固定客の皆さんから時に厳しい意見をもらうこともあるが、商品改善になってありがたい」など、笑顔で語ってくれました。

週末より平日のお客が多い同館。歩いてこれる範囲の常連客が多いといいます。よく訪れるという女性は「野菜は甘みがあっておいしいし、加工品の味付けもいい」と買い物袋を膨らませていました。

- ◆運営...一関まちづくり(株) 大町4-29 ☎31-2201
- ◆営業時間...9:00~19:00
- ◆定休日...1月1日

今回は、「産直ふるさと大東」(大東町)を訪ねます。



自分たちで木を育てる。育てた分だけ使う。自給自足の紙づくり。

「原料を自分たちで育て、成長した分だけ収穫する」という考えが海外植林事業「Tree Farm」構想。それは、まるで「木の畑」。

現在、その面積は東京23区の約2.7倍にあたる16.6万ヘクタールまで拡がりました。持続可能な原料調達を実現するために、さらに「Tree Farm」を拡大していきます。

NIPPON PAPER INDUSTRIES
日本製紙株式会社東北営業支社
〒980-0022 仙台市青葉区五機1-1-10(第二河北ビル)
TEL.022-262-3911

2011年に成人式を迎えるお嬢様へ

新作レンタル振袖展

展示予約会開催

振袖レンタルフルパック
振袖一式・写真・美容・着付けが入ったトータルパックが好評!
¥84,000~¥315,000

成人式展示・予約会
3月開催日 10時~17時まで
13日・14日・20日・21日・22日・27日・28日
ペリーノホテル一関 3F美容室 3F美容室

お問い合わせ
ペリーノホテル一関 3F美容室
一関市山田字三反田179
tel.0191-26-5015

Bridal Salon SHICHIFUKUJIN
プライダルサロン七福人

TV、CMをはじめファッション誌も注目する「スザンヌ」がプロデュースするKimonoCollection

※広報3月1日号23ページ、一関市総合体育館壁面の1枠あたりの広告料は、3334円の誤りです。また、同25ページ、女性センター女性相談事業の日は、3月30日⑩10時～16時です。訂正してお詫言します。

一関文化センター「エレキギター講座」

①【ベンチャーズ】コース

◇日時…5月～23年2月(原則第3または第4⑩)19時～20時30分 全9回

◇発表会…23年2月27日⑩予定

◇対象・定員…リードギター・リズムギター経験者でエレキギターを持参できる人・先着10人

②【いろは】コース

◇日時…5月～23年3月(原則第1⑩)19時～20時30分 全10回

◇対象・定員…ギター初心者または長期間ブランクがあった人でエレキギター(フォークギター)を持参できる人・先着5人

【共通事項】

◇会場…同センター

◇受講料…①②とも1万円

◇受け付け…3月15日⑩～4月16日⑩

◎申込先・問い合わせ先…同センター ☎⑩2121

一関図書館開館時間の変更について

利用者の利便性向上を図るため、4月1日⑩から一関図書館の開館時間を変更します。

◇変更後の開館時間…10:00～18:00

◎問い合わせ先…同図書館 ☎⑩2147

70歳から74歳までの医療費自己負担割合について

4月から、これまでの1割から2割に引き上げられる予定となっていた70歳～74歳の人の医療機関などの窓口における自己負担割合が、23年3月末まで1割のまま据え置かれることになりました。該当する人には、3月末までに新しい高齢受給者証を郵送します。

なお、現在3割負担の人は、お手持ちの高齢受給者証を使用してください(新しい高齢受給者証は郵送しません)。

いずれの高齢受給者証も有効期限は、7月31日です。8月1日から使用する高齢受給者証は21年中の所得により判定し、7月下旬に郵送します。

◎問い合わせ先…本庁国保年金課 ☎⑩8343

条件を全て満たす場合に限り、農用地区域から除外することができません。このほか、中山間地域など直接支払いの対象農地であるなど、除外が望ましくない場合があります。◇農用地区域への編入：農業振興地域内にある白地農地で、その農地を確保保全したい、または基盤整備など補助事業を実施する予定の農地は農用地区域に編入します。提出書類：一関農業振興地域整備計画農用地利用変更申請書 位置図 土地利用状況図 事業計画の概要・配置図・設計図・登記事項証明書、資金計画書など◇提出期間：4月15日

時◇会場：同ホーム調理室◇対象・定員：市内に居住または勤務する勤労青少年および求職中の(36歳以下)先着15人。定員に満たない場合はどなたでも。◇メニュー：春餅とジャガイモ炒めと中華スープ◇講師：張静華さん◇受付期限：3月23日⑩ ◎申込先・問い合わせ先：同ホーム ☎⑩2144(平日13時～21時、土17時～21時)

多重重債務整理、消費者救済資金融資相談(予約制) ◇日時：3月24日⑩10時～13時◇会場：本庁3階小会議室◇内容：多重重債務などの消費者問題に関する相談、消費者救済資金融資制度、生活再生資金貸付制度の相談◇相談員：信用生協一関相談センター職員 予約は前日の17時まで。 ◎予約先・問い合わせ先：本庁生活環境課 ☎⑩8342

場：盛岡自動車保険請求相談センター(盛岡市)◇相談電話：☎019(651)4495 ◇相談料：無料◇その他：来訪される場合は、事前にご連絡ください。 ◎予約先・問い合わせ先：(社)日本損害保険協会東北支部盛岡自動車保険請求相談センター ☎019(651)4495 ホームページ http://www.sopo.or.jp

催し・講座

一関勤労青少年ホーム短期講座「中国の家庭料理」 ◇日時：3月26日⑩19時～21時

初心者者の無料尺八体験教室 ◇日時：4月～6月Aコース【毎週⑩18時～20時】Bコース【毎週⑩9時30分～11時30分】各コースとも全12回◇会場：山目公民館小会議室和室◇講師：小野寺扇輔さん◇その他：尺八は準備します。 また、見学は自由です。 ◎申込先・問い合わせ先：山目公民館 ☎⑩2104

交通事故無料相談 交通事故に遭われた人の相談に専門の相談員が応じます。 ◇相談日時：祝日を除く⑩⑨時～12時13時17時 毎月第2・4⑩13時16時は弁護士相談(予約制要面談)◇会場

農振除外および編入の申し出を受け付けます ◇農用地区域からの除外(農振除外)：農用地区域は、農業のための利用を確保する区域で、原則として農業以外の目的での利用はできません。やむを得ず、農用地区域内で住宅などの建築を行いたい場合には、緊急かつ具体的な土地利用計画があること 農振農用地以外に代替できる土地がないこと 必要最小限の計画面積であること 周辺農地に著しい影響を与えないこと 農地の集団化、農作業の効率化その他土地利用に支障がないこと 土地改良施設の有する機能に支障を及ぼさないこと 認定農業者などの農地利用に支障がないこと

お知らせ

場：盛岡自動車保険請求相談センター(盛岡市)◇相談電話：☎019(651)4495 ◇相談料：無料◇その他：来訪される場合は、事前にご連絡ください。 ◎予約先・問い合わせ先：(社)日本損害保険協会東北支部盛岡自動車保険請求相談センター ☎019(651)4495 ホームページ http://www.sopo.or.jp

2010 春夏新作ドレス 続々入荷中!! 「M.S.ディーアイボリー」、「ミッシェル・クラン」 「バンセド・ローズ」、「ラバン&ソリス」 上戸彩プロデュースドレス「U」、 加藤夏希プロデュースドレス「ナツキドール」など 幅広いラインナップの新作ドレスが続々入荷! お気に入りの1着に必ず出会えるはず... お気軽にお越し下さいませ

春の新生活応援キャンペーン!! 3月6日(土)～4月30日(金)まで 節約できます! 「安い!」は、この「安さ」 多チャンネルデジタルTV & NETで 低料金で充実ライフ!!

●広報いちのせき本号の印刷経費は、1部あたり約18円です。

ソフトボール全国大会へ

千厩ソフトボールクラブは春季全日本小学生女子ソフトボール大会(3月27~29日、熊本県菊池市)への出場を決め、2月25日、市役所千厩支所で勝部修市長に全国大会での健闘を誓いました。

千厩小と清田小の女子児童12人の部員からなる同クラブ。昨年11月の県新人大会兼春季全日本大会県予選では、決勝で敗れたものの、県ソフトボール協会の推薦により全国大会出場の切符を手に入れました。村上李夏主将(千厩小5年)が「練習の成果を発揮し主将としてチームが勝利できるよう頑張りたい」と決意を述べると、勝部市長が「大きな声を出すと力がわく。元気良く頑張してほしい」と激励しました。



全国での健闘を誓った選手たち

おめでとうセンバツ出場

第82回選抜高校野球大会に出場を決めた盛岡大学附属高校野球部には、本市出身の3選手が在籍。あこがれの夢舞台目指し、懸命に練習に励んでいます。佐々木雅敏君(外野手)、高藤佑地君(投手)、小野寺優太君(内野手)で、いずれも花泉町出身の2年生です。花泉中時代には県中総体で優勝を経験しています。

同校の関口清治監督が2月22日、市役所本庁を訪問し、勝部市長に3選手の活躍ぶりを報告。勝部市長は「岩手の高校野球は注目されている。応援しているので頑張してほしい」と激励しました。



上 市内出身の選手たち。左から佐々木雅敏君、高藤佑地君、小野寺優太君
左 勝部市長(右)に本市出身選手について説明する関口清治監督

ほっと NEWS

こんなこと
ありました



受賞を喜び笑顔の「キララ」会員や関係者

心の病を理解してほしい

精神障がい者を理解してほしいと活動する「心の病と共に生きる仲間達キララ」が、NPO法人地域精神保健福祉機構が主催する精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)を受賞しました。2月27日、千厩町の酒の蔵交流施設で行われた例会に勝部市長が駆けつけ、受賞を祝福。佐藤永明副代表は「自分を表現できるようになった。心の病を克服し、地域の皆さんと暮らしていきたい」と抱負を述べました。同会は「明るく生きる精神保健シンポジウム」を企画するほか、演劇で精神障がいへの理解を深める活動などを行っています。



品質管理の基礎を学んだ市内企業関係者

ものづくりの人材を育成

市が主催する人材育成事業「品質管理研修」は2月26日から3月6日まで、岩手県南技術研究センターで行われました。グローバル化する経営環境で、市内企業の技術力、経営力を強化してほしいと行っているもので、市内企業17社から25人が参加しました。

講師は市内企業で長く品質管理を担当してきた阿部一幸さん。ものづくりに携わる企業の技術者や品質管理検定の受検予定者が、QC(品質管理)七つ道具の手法の解説、工程改善、抜き取り検査、TQM(総合的品質管理)について、2日間学びました。